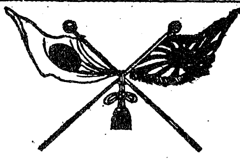
（明治四十一年二月三十日第三種郵便物認可）　日刊（月曜及祭日の翌日休刊）　明治四十三年一月一日（土曜日）　第三百號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久紳一郎
京城西署西小門通（電話六六二）
發行所 京城新報社

1910



謹みて勅題新年の雪を詠して迎歳の辭に代ふ　峰岸生拜詠

からの野に
積れるゆきも
あら玉の
はつ日にいかて
とけさらめやは

古歌　本居大人

さし出る
この日の本の
ひかりより
こまもろこしも
春をしるらむ

勅題新年雪

○　京城　廣岡克
すめらきの
大御心もかくやはさ
しつかに降れる
あら玉のゆき

○　同　川崎みつゑ
君ケ代は
幾千代かけて榮ゆらん
年のはしめに
ふれるしらゆき

○　同　牛草魚人
あふき見る
不二のたか根の白雪に
ほのほののほる
初日の出かな

○　木浦　直井獸響
あら玉の
年の内よりつむゆきは
ゆたかなる世の
しるしなりけり

○　同　同人
はつ日かけ
ゆきにうつりて天皇の
みいつかくやさ
見るそうれしき

○　京城　飛高
幾千代も
かはらぬ御代の新玉を
むかえてつもる
今朝のしらゆき

○　狄山　古里新
から人も
年立つ今日を祝ふらん
しらかねまかふ
南山のゆき

○　京城　吉原二葉
はつ日影
のとかにさしぬ南山
百濟の深ゆき
けふそとくらむ

○　京城　ゆり子
幾代經し
みねの松ケ枝香もなう
雪に明け行く
戌のはつ春

○　京城　一瀬修堂
若水を
迎ふる人ぞ迷ふらん
御代しかつなる
とよのみゆきに

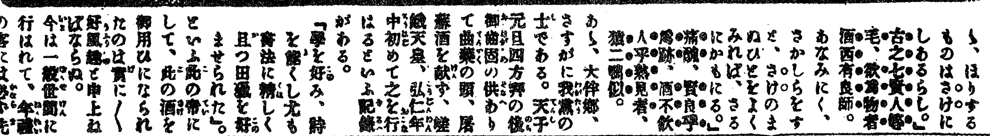
○　同　春道
君ケ代の
千代をことほく門松の
いろ深かれと
ふれる白ゆき

○　京城　森逸遊
新たまの
年の初めに降るゆきは
清く榮ゆる
御代のかけかも

○　同　本多潤
掃清め
年迎へたる廣庭に
綿しけるこそ
つめるしらゆき

○　同　同人
たさな子の
引く手にかよふ風の糸に
觸れてまひけり
軒のしらゆき

○　選者　去留
からの野に
つもる白雪踏わけて
ことさきにけりな
けさのはつ春



屠蘇酒

草根木皮道人

蘇は、鬼の名であつて屠蘇は、鬼を屠り退治するの義、酒はさかゐの、義にて、飲めば笑ひさかね樂しむゆゑなりといふ。元旦に此の屠蘇酒を飲めば疫癘一切、不正の氣を避け、家門繁昌延命長壽、武運長久としたものである大元帥、大伴郷、酒を讃するの歌といふ、

いにしへのなゝのかしこきひとども、ほりするものはさけにしあるらし。
古之七賢人等毛、欲爲物者酒西有良師。
あなみにく、さかしらをすと、さけのまぬひとをよくみれば、さるにかもにる。
痛醜、賢良乎、爲跡、酒不飲人乎熟見者、猿二鴨似。

あゝ、大伴郷、さすがに我黨の士である。天子元旦四方拜の後御曲固の供ありて曲藥の頭、屠蘇酒を献ず、嵯峨天皇、弘仁年中初めて之を行はるといふ記錄がある。

『學を好み、詩を能くし尤も書法に精しく且つ田獵を好ませられた』といふ此の帝にして、此の酒を御用ひになられたのは實にくく好風趣と申上ねばならぬ。今は一般世間に行はれて、年禮の客には必ず先づ屠蘇を供するといふが俗例となつて居る。

さて此の屠蘇といふものは、何を原料としてあるか、其の方剤と性能とを言うて見ると、屠蘇の藥方は通常、白朮、桔梗、山椒、防風、肉桂、大黄及び丁香等であつて、其の

『白朮』は菊科植物、蒼朮屬のフケラといふて、餅に似たる草の塊根である……謂ゆる、和中補氣の効がある

『桔梗』は、キヽヤウの塊根で、强壯劑として用ひられ。

『山椒』は、芸香科所屬、山椒の果實の皮であつて、昔時は小兒の蟲下しとして稱用したものである。

『防風』は、繖形科植物ハウフウの二年根を採掘したもので、感冒や、レウマチス等に用ひられ。

『肉桂』は、樟科に屬するニクケイの稚根の皮であつて、健胃强壯、精力增進の目的に供用せられ。

『大黄』は、蓼科植物で、初春未だ萠芽せざる前に、其の根を採りて用ひるのであつて、健胃及び瀉下の有効成分を含んで居る。

『丁香』は、桃金孃科ジャンボサ、カリオヒルスと稱する東印度諸島及び亞弗利加東岸に培養する喬木の蕾即ち未開の花であつて、芳香性の調味藥として供用せらるものである。

●供御の御雜煮

その昔は宮家諸大名を始めとして下は農工商に至る迄も少しく召使などのある家にては年の始めの大禮とて何處も正月三ヶ日の祝膳は中々盛んに行はれたるものなるが維新後は何事も儀略を尊び今日にては古來の正式に則りて行はるゝは殆んど皆無の姿にて宮家舊大名などにても只僅かに舊家臣舊藩士の年賀を受けらるゝのみとなれるが宮中にては今も尚相變らず古式を用ゐさせ給ふ由因に御雜煮は朝御祝にあらずして夕御膳に召させ給ふ御定例なりとぞ洩れ承はる

●伊豫松山の彈初め

本調子　作調　澤田だるま　撰用　高島宗左文治

たつ酉は、あとを濁さぬ情ち世の、あけてみどりの竹飾、松も門守る戌の春、梅の笑顔に降り添ふ雪は、薄紅の初化粧、必ゆかしき三ツの朝

▲新春十句

多田千春

三代の忠義者なり年男
聞くと目出度き言の葉もよし福壽草
事足りし心に咲くや年の花
橘立や松の葉越しの初日の出
仲人の來て隱れけり手毬突
とその酔局拍子にうたひけり
大鞠に乗つた氣のする朧月哉
神此所に在すが如し恵方棚
勢ひのあまる反り身や小鍛原
須磨は未だ千鳥の夜なり初島

○勅題一句　同人
新年の雪や松ある不老門

▲新年雪　京城　牛草魚人
初春や南大門の雪景色
新年や武運勝ます雪合戰
新年は目出度候雪の降る
初春や雪年の兆六つの花
千鳥足田舍紳士や雪の道
門松や雪の化粧の美くしき

謹賀新年

社長　峯岸繁太郎

社員（イロハ順）
石橋侃
西野幹
岡成登義
加藤桃睦
金森愿治
河村與策
高木久馬太
堤善吉
中村弘
長野直彦
中村貞三
矢島政治
松久紳一郎
福崎毅一
深草榮造
後藤鐵二郎
江藤伊三郎
酒井安雄
佐藤巖
岸田梅吉
宮崎志達
下村信輝
正田義一郎
森隆孝
池德華
韓仁壽
張潤根
全春玉
鄭春景
曹用翼
徐相翊

曾禰統監に申す

京城新報

謹で年頭の御祝詞申進候偖閣下には近日御東上の由而して各方面より記者の耳朶に達する情報に因れば閣下今回の御東上は現官職を抛ち身を閑地に置かるゝが爲なりと。是果して事實なりや否。

記者曾に申せば閣下が故伊藤公の後繼者と爲られたるはまことに運の善きにて其狀恰も放蕩息子が父の遺業を引受けたるが如し而れども閣下の其任を承諾し伊藤公をして勇退せしむる機會を得せしめたるは余輩の感謝に値するところなり何となれば伊藤公はソレ見た事かと悠々として今日に至るも何程韓國統監の主人として其施政を擁し居たるに相違なければなり。

閣下は統監に在ること僅かに半歳而かも常に病魔に犯され藥餌に親しみ保護政治の要頭の如き閣下の爲さるところあるべからざるは已むを得ざる所なり。

閣下に於ても多少の責任ありと謂ふべし。

宮中の祝賀次第

東京電報

天皇皇后兩陛下には元日宮中に於て東宮及同妃兩殿下、各宮殿下、各大臣及文武官の新年の祝賀を受けさせらる

東宮御所の祝賀

東宮及同妃兩殿下には青山御所に於て元日の祝賀を受けさせらる筈

韓皇太子の祝賀

韓太子には麻布鳥居坂御用邸に於て日韓官民の祝賀を受けさせらる筈

練習艦隊の歸着

滿韓巡航中なりし練習艦隊は横須賀に歸着せり（十二月卅日發）

北白川宮御精勵

練習艦隊乘組中の北白川宮少尉候補生殿下には滿韓巡航中も非常の御精勵にて他の候補生間にも奮勵し成績極めて良好なりと（同上）

米觀光團の到着

米國觀光團六十名は廿九日午後二時長崎着官民の歡迎盛なり（同上）

陸軍の大演習期

四十三年の陸軍大演習は秋期九州に於て擧行する事に決し一月十日迄に裁可を奏請する筈なり（同上）

京元湖南兩線

京元鐵道は十一年計畫とし工事費一千三百七十八萬圓湖南鐵道と同じく十一年計畫にて工事費は一千一百五十三萬圓と決定し何れも二十三万五千圓を支出し四十三年度に於て着手する筈なり（同上）

京城中學の建築

京城中學建築は二ヶ年繼續にて來年度の支出額は六万五千四百六十圓と決す

米實業家の招待

來る三日二回米國實業家招待會開催す

各政黨の祝賀式

政友會進步黨を始め各政黨本部にては今一日新年祝賀式を行ふ（同上）

韓皇太子の避寒

韓太子には近日熱海へ避寒せらるゝ豫定なり（同上）

歲末の金融狀況

歲末に於ける金融繁忙を極め日本銀行の制限外發行一千万圓に達したり（同）

同志會員の渡韓

對韓同志會にては近々會員五百木良三大谷誠夫の兩氏を渡韓せしむる筈なり

觀光團の神戸着

米國觀光團百五十名は二日神戸に到着の筈にて目下盛なる歡迎準備中也

紐育電報

▲大統領と棉小麥

米國 大統領タフト氏は合衆國に於ける小麥及び綿の投機を制止する法律を制定する方針にて目下考究審議中なり（十二月卅一日）

歐州電報

▲北樺太の賣却說

露國 露國政府は北樺太の北半部を米國に賣却する筈にて目下兩國政府の間に秘密交涉中なりとの說有力なる筋より漏る（十二月卅一日）

▲日本公債の騰貴

倫敦 市場に於ける日本公債の賣行は益々良好にして價額も亦暴騰せり（同上）

北京電報

▲攝政王の遭難誤傳

淸國 攝政王南苑より來りたる革命黨員に刺され輕傷を負ひたりとの說ありたるも右は全く訛傳なること判明したり（十二月卅一日）

世界列强の海軍

雜報

明治三十九年に於ける英艦ドレッドノート及び我薩摩の進水は戰艦上一新紀元を劃したりとて世の視聽を聳動したるも右兩艦の少し以前に建造せられたる我鹿島は一萬六千四百噸を算し英國のロードネルソンは一萬六千五百噸を數へたるを以て結局ドレッドノートの一萬七千九百噸薩摩の一万九千三百五十噸は三千噸内外を增加せるに過ぎず然るに本年に至つては排水量の劇增非常にして列强盟艦の競爭亦空前の盛あり即ち昨年迄は二萬噸艦を以て最大としたるに本年に至り米國は二萬六千噸の大戰艦二隻を起工し忽ち六千噸の劇進を示し同時に英國は戰艦を二萬二千噸に止めたるに拘はらず二萬六千噸の驚くべき裝甲巡洋艦を建造し最大と稱せられたる裝甲巡洋艦インデファチガブルを拔くこと實に八千噸なるは寧ろ異常の現象と謂はざるを得ず伊國が三萬二千噸艦を設計すとの報道は未確實の風評として別問題とするも米國の三万噸艦設計は其步を進めつゝあること異に近し又獨逸は既定計畫に依り每年三戰艦を起工すべき筈なるに昨年末より本年に掛けて更に三戰艦を繰上げ起工し本年中に都合六隻を起工し急に米國を排して世界の第二位に進まんとする如き英國が四艦を起工し更に四隻を準備したる如き露國の四隻、伊國の四隻、墺國の四隻、佛國の三隻起工の如き西班牙及び土耳古が海軍再興計畫に着手したる如き其競爭の劇烈なる洵に駭魄驚心を値するものにして觀來れば將來列强の海軍が何れの點迄躍進すべきか寧ろ物凄き思ありて本年に於ける列强起工の大艦を示せば左の如し

▲英國 戰艦ハーキュールス（二萬二百五十噸）コロッサス（同）ヲリアン（二萬二千噸）▲裝甲巡洋艦ライヲン（二萬六千噸）

▲米國 戰艦ワイヲミング（二萬六千噸）オクラホマ（同）

▲佛國 戰艦三隻（各二万三千噸）

▲露國 戰艦セバストポール（二萬三千噸）ペトロパヴロウスク（同）ポルタワ（同）ガングッド（同）

▲墺國 戰艦四隻 各一萬千二百八十六噸

▲獨逸 戰艦フリッツヨッフ代艦（一萬八千三百七噸）ハイムダル代艦（同）ヒルデブランド代艦（同）ハーゲン代艦（二萬噸）ニージル代艦（同）ヲジン代艦（同）外一隻（同）▲裝甲巡洋艦（一萬八千七百噸）

▲日本 戰艦二隻（河内、攝津各二万〇八百噸）

▲伊國 戰艦ダンテアリゼリ（一万八千三百二噸）レオナードダビンシ（同）ミッチルアンゼル（二萬一千噸）ガリレオガリレ（同）

韓國鐵道の將來

（某鐵道管理局の談）

韓國の經營は故伊藤統監苦心の結果大體の基礎定まりたりとはいへ之が前途に就ては尚未知數の觀なくばあらず而して鐵道經營を以てすれば先決問題として先づ交通機關たる鐵道の完成を圖るは急務中の急務なりと信ず而して之が完成を期せんには少くとも一億圓内外の資金を投じて韓國全土の大幹線ともいふべき鐵道を敷設する必要あるも一時に一億圓の資金を投ずるは國家財政の許さゞる處なれば四圍の事情を斟酌して明年度に於て京元、湖南の二大工事に着手するの計畫を立て其工事費を三千九百萬圓とし政府と交涉の上十一ヶ年計畫を以て完成する豫算を第廿六議會に提出する事とした・是國家の財政狀態に鑑みて餘程控目にした計畫にして其内三千二百萬圓は京元線百三十六哩の廣軌鐵道敷設費に充て其餘は湖南線百三十六哩に充つる考へなり尚右費額の内には京釜線の改良費をも含み居るものとす世間にては或は今日の場合韓國の鐵道に四千萬圓を投ずるは愚の極なりといふものあるやも知れざれど余の見地を以てすれば韓國經營の基礎は交通機關にあり此施設の爲め僅々四千萬圓を投ずるは寧ろ寡少に失せずやと衷心意氣地なきを恥づるなり日本帝國民は雞林入道の經營に關しては心血を傾注せざるべからず如何となれば韓國の現狀は僅に經營の緒に就きしのみにて我政府の既に敷設したる鐵道は六百哩にて之に投せし資金は僅に八千萬圓に過ぎざるにあらずや世間にては東洋拓殖會社が實際的に韓國開拓の衝に當るを以て遠からず其目的を遂し得べしといふもあるも是は事情を知らざる議論なるを免れず拓殖會社の手を伸すべき機關は此交通機關たる鐵道によらざるべからざるや論なし今日韓國鐵道を完成するの策を立てざらんか東洋拓殖會社は如何とも手の下し樣なかるべし乘より今回議會に提出する鐵道計畫は算盤本位にあらずして韓國經營の大方針に則りたるものなれば營業的利益主義に副ひたる必要の爲め廣狹軌とする計畫なり苟も日本人が劍を帶ぶる以上は切れぬ刀など佩逵に帶ぶる必要なし一たび刀を帶ぶる以上は正宗以上の日本刀を帶ぶべきや論なかるべしと信ず

韓米と歐州市場

本年の韓出米が内地米價の著るしく低落せる割合に捗々しからざるは全く印度米も共に安價に生れ居る結果に外ならざるも韓國米が日本米代用として益々歡迎せらるゝ事も其の多きに應せる事言ふまでもなく現に今年の韓出米が本月積出の分をも併せて一万七八千噸の韓國米を含み居る有樣なるが這は現今一擲に對し内地米との比較に於て七十錢方の低位にあるのみならず品質上また大差なきより歐洲商人は日本米と占有じて供給し其の間相當の利益を占有し居る結果と思はる去れば内地米の一度騰貴するや内地米との直鞘は非常の額に上るより勢ひ韓國米は今後日本米代用として益輸出を增加すべし是に於てか我が精米業者等は韓國米を内地に於て精米し加工賃金を得て之を歐洲市場に輸出する上に韓國米の輸入戾稅を得んとの請願を今議會に向つて提出せんと爲し居るが一方輸出商側の意向は勿論遂は國家經濟上利益には相違なからんも韓國米を精米と爲すの必要ありとせば韓國に於て爲すを利益なりとす況や韓國には精銳なる精米所の二三ある殊に歐洲に於て韓國米の歡迎さるゝは未だ商賈の爲り居らざるにあらずや歐洲商人が歐洲に於て精米し日本米として賣出し居る其の間の利益に着目し居るものなれば殊更に韓國米として白米を供給したりとて歡迎さるゝ筈なく一面日本米の事情より見るも到底今後貿易の活動を遂ぐる事困難なれば日本商人は歐洲商人の仲介者となりて韓國米の供給を爲すを得策なりとす即ち保稅倉庫を利用し中繼的韓米の輸出を爲すに於て戾稅を爲すの必要なし若し加工賃金を得んが如きは只一部の精米者を利するのみにて却て韓國米の輸出を妨ぐるに至るべき嫌なきにあらずと

滿洲の新不凍港

清國所管滿洲唯一の輸出入港たる營口は每年冬季結氷翌年解氷期まで運輸一切の交通を杜絶せざる可からず此の期間に於ける滿洲貿易は全然日本の經營に係る大連に移り滿洲の商權を擧げて日本の掌裡に歸せしむるの結果と爲るべしとの理由を以て郵傳部侍郎徐世昌は曾て東三省總督たりし時代錦洲灣口連花島の不凍港たるより之を商港として太沽港の秦皇島に於けるが如く冬季間營口の補助港灣たらしめ以て大連を壓附するの計畫を立てたるも財政上の都合に依り未だ實行に至らざりしが近年滿洲貿易の著しく發達したるに鑑み是非共該連花島を商港と爲すべしと唱へ目下頻かに錫總督に往復交涉を重ねつゝありといふ

韓儲渡韓の眞相

韓太子には來る三月頃岩倉宮相隨行して約三四週間御歸國せらるゝ筈なるが右に付き某近侍者の談なりと云ふを聞くに今夏伊藤公渡韓の節太皇帝の面前に於て太子歸韓の上太皇帝に對面の事を明言せられし行掛あるため同公殁後之を中止せんか只さへ疑惑の念に驅られ易き太皇帝の更に宸襟を惱ませらるべきを推察しいよ〳〵御歸國に決定せし次第也と左れば平素太子が熱誠を罩めて報告せらるゝ我皇室の御優遇の如きも猜疑心旺んなる太皇帝は未だに十分信用せられざる有樣なれば來春の御歸國は大に好影響を與るならんといふ

滿韓移民非獎勵

政府は前期議會に於て米國移民の渡航を禁止し同時に滿韓移民獎勵の方針を明言せしに拘はらず今日迄滿韓に於て何等獎勵の形跡なきのみならず商工業及び農業に對しても殆んど放任主義を採り彼地に移住し事業に着手せんとする者も政府の保護獎勵なき爲め多くは淸國人の爲めに先鞭を着けられ終に滿韓移民失敗の聲を聞くに至れるが是れ全く政府の移民方針一定せざるの致す所にして斯の如きは國家の發展上決して輕視すべきの事に非ずとの議一部代議士中に唱道されつゝありと

軍司令官の招宴

大久保軍司令官は昨三十一日午前五時半より大觀亭に韓國民官李秉武、李熙斗、趙性根外十七名と日本武官側よりは明石參謀長、藤田軍醫部長、小倉經理部長等を招き忘年會を催したり

京城の新年祝賀

▲統監と各官吏 例年の通り今一日在京城龍山の各勅任官（日本）統監府高等官一同統監府所屬官署高等官三等以下並に韓國傭聘中の日本高等官三等以下の各廳局部付よりの總代及び統監府及所屬官署の判任官各總代は午前十時に統監官邸に參集し祝賀式を行ふ

▲憲兵隊の祝賀 憲兵隊に於ては今一日午前八時四十分迄に集合整列し規定に則り拜賀式を行ひ隊長及分隊長は各部下の判任以下無職者の祝賀を受く

▲各聯隊の祝賀 今一日午前九時より步兵第十三聯隊及第二十三聯隊に於て新年拜賀式を行ひ各隊長は判任以下無勳者の祝賀を受けらるゝ筈

▲居留地の祝賀 居留地官民有志は本日正午より京城ホテルに參集し名刺の交換を爲し一同祝盃を擧ぐる筈なり

▲各學校の拜賀 民團立中學校、高等女學校、第一第二兩小學校にては本日午前十時より新年拜賀式を擧行する筈

曾禰統監の參内

今一日午前十一時より曾禰統監は國分佐竹兩秘書官、石井、外波兩武官を隨へ昌德宮及び德壽宮に參内の上新年の御慶を申上らるゝ筈なりと

軍司令官の參内

今一日午前十一時より大久保大將は十時副官を隨へ昌德宮及び德壽宮に參内の上新年の御慶賀を申上ぐる筈

●大内氏の渡韓要務

進步黨院内幹事大内暢三氏は韓國政况視察のため渡韓し京城ホテル滯在中なるが其の目的は單に政况といふのみにあらず韓國に於ける財政經濟の狀態に亘りても詳細に視察をなし一月十八九日頃歸京する由なるがその最も重きを措けるは近時世に傳へらるゝ曾禰統監の引揚說が果して事實なるや否や對韓政策變更の要あるや否や及び韓國政府が在外韓人に對し如何なる方法を以て牽束しつゝあるや等にして又京元、湖南兩鐵道敷設問題の如き及び沿道開發狀況等實際上の關係並に韓國中央銀行東洋拓殖會社等が韓國經濟狀態と如何なる關係を持續しつゝあるか等につき調査をなし同黨は氏の報告を待て一定の對韓方針を決し本期議會に臨む筈也

●日韓同志會の協議

日韓同志會へ向け韓國側の同會員より此際突飛なる合邦論を唱ふるなからんことを望む旨の書類頻々到着するを以て木下謙二郎氏を始め同會員は客年二十七日午後五時より赤坂富貴亭に會合協議せり

●京城局の韓語通話

京城郵便局にては一般電話交換手に韓語を練習せしめつゝありしが今一月一日より韓人加入者は韓語にて交換接續の要求をなすも差支なき準備整ひたりと尤も初めての事にして交換手に於ても多少未熟の點は免れ難きやに當局者は語れり

●上海航路直營計畫

南滿鐵道に於ては從來傭船に依りて大連上海間の連絡航路を經營し來りしが此程に至り更に自己所有の汽船（買入計畫）を以て全部該航路を直營せんとの議あり近く事實として發表實行を見るべしと

●製鐵所韓國出張所

農商務省にては一月一日より鎭南浦に製鐵所出張所を設置する事に決定せり

▲治外法權▼

明治も愈々四十三年となつた、なんのかんのと云ふても大化以來本年號程永く續いたのは無い、東洋の一隅より起つて僅か半世紀にも滿たぬ中に世界一等國の班に列するに至りたるは 陛下の御稜威と國民の奮闘の然らしめたものだ、誠に勝つて兜の緒を締めろと、吾人帝國臣民たるもの過去の成功に醉はず須らく已れを空ふして世界の覇者たるに至らしむべきである▲戌年になつた、酉は曉を告ぐるが役目である戌は夜を守るのが職分である、余翌体少に力微に恰もチンコロの如しと雖も本年中を通じて聊かチンコロとなつて夜を守る積りである▲昨年は隨分物騷な年であつた、伊藤公暗殺され、李完用やられ、露國警視總監やられ、支那の攝政玉もドーナラやられたらしい、之を以て見ると爲政者は平常の覺悟が大切である▲記者は今度で半島に於ける四回目の新年を迎へる、統監政治も牛の步む如くではあるが万更進步して居ない譯でもない、論より證據は南大門の變化で判る、只遺憾とせるは拂つた金の多い割合に受取つた品物の少ない事である▲記者は三十九年四月入城四日目のホヤ〳〵で日韓合併倶樂部の創立を企だてた、合併倶樂部とは日韓關係最後の解決を爲すことに盡力する團體である、當時居留民中での一番に記者の提唱に贊成して呉れたのが山口太兵衛君である、ソレから他にも段々贊成して呉れた有志者があつた、記者は聊か調子づいて伊藤統監に自分の計畫を述べたところが直ちに眼玉を頂戴し餘儀無く引下がることになつた、一進會の合邦論の如きは作悍其當時記者が李容九や宋秉畯に傳授して遣つたもの〻變形した物である、伊藤公去つて合併論が自由に出來るようになつた、僅か四年前と今日では正に隔世の感があるのである▲與宗の御文章ではないが朝には紅顔ありと雖夕には白骨となるのである、人世僅か五十年、君と國とに捧げた我々の生命である、男子須らく君國の爲に乾坤一擲の快事業を爲すべく此元旦に於て覺悟をすべきである。

戌の年の藝妓

明けて二十五歳の中年増、藝なら愛嬌ならの脂盛り戌の年の藝妓は即はち左の九妓である今三一館主に依頼し是等諸妓本年の運勢を判斷したれば左に披露せん

清華亭 一駒事 木南 とく
同 上 一奴事 野口 はつ
同 上 梅之助事 白石 はる
井門本店 政子事 印南 つる
花月樓 鈴事 阪本 たね
松葉亭 駒栄事 石川 はな
組の家 千万事 立木 ちよ
柳翠樓 君子事 吉田 とみ
京券番 旭 事 横永 よし

本町五丁目 三一館長判斷

茲に當年廿五歳戌年生れの藝妓諸君の本年の運命判斷を致します元より納音幹枝九星上より判斷したのであつて概括的ですから各人各別の巨細なる運命に至ては各人各別に卜筮の上でなくては推斷する事出來ぬが併し鬼と屋と程の相違は無い積りです廿五歳は即ち屋上の土 屋根瓦の下のふせ土などの類にてまつたく生氣のなき土である。丙は炳ゆると訓み譬ふれば草木の生長して追々地上に肪へ出づるのである。戌は戌ぶるとよみ恰も金氣盛なる鐵山の草木が漸々やよれ枯るゝの譬へである、それで今年の納音や幹枝九星（今年の納音幹枝九星 閑暇あれば別に掲載する積りである）と相生相剋配合比較對象から見るとこうである

職業に就ては概して收利收益が平年より多い併し職業上に骨の折れる事も中々大層でして油斷も隙も出來ないのである、そして住所居所の轉移も出來ます尤も此住所居所の轉移は職業上から見て後日の爲めによい事となる。そして親や近い親戚からの無理無心が多く注文さるゝのみならず弟や妹のため色々世話の焼ける事も多い、其上交際上から失費の嵩む事も多くて收利收益は多いが差引勘定零となり畢竟蓄財は出來兼ねるのである。次ぎに結婚は一寸考へ物ですぞうしても千秋萬歳といふような、ふさわしい縁は罷り兼ねる次第です其仔細は從前から氣心も知れ自己の心にも許してれる人があつても其れは自己の眼鏡違ひにて或は不評判の人であつたり或は眞實誠のない人であつたり又そうでなくとも餘所より邪魔故障が這入つて婚姻の交渉進行は到底圓滿なる結果を見ない事となり少々御落膽する事もある次第となります尤も只一時の落籍沙汰もないではないですが是れも苦情や行き違が出來易いのですで結局婚姻問題は諦めるより外詮方ありません御當平生は溫順柔和にして多く人と爭はない方ですが本年は轢軋難爭も多いのみならず兎角すると生理上の作用其他から些少の事端にも憤怒を挑發して衝突爭論の事を見る事が多いから姫御前の手前として成るべく御慎しみなさいそれから金品の紛失も多い年ですから此邊には充分御注意あつて濁ヒりは亦擽々といふような事のないように願ひます斯ふ說いて來ますと大分惡いようですが（尤も廿五歳は誰れでも厄年です、併し身体の健全達者な事と假令失費が多くして利得は差引勘定○となる譯でも利德の多かつた丈け其れ丈け職業上の地位の上進したのは儲け物です如何なる英雄豪傑でも時勢の非即ち運命の惡い時には逆境に陥り窮狀を極むる事はありますが併し此際に禮勢力を養ふて他日他年の計畫目論見を立てゝ置きさえす其れ故諸君方も自暴自棄に起して弄花や茶碗酒に親しまずに技藝なり刺繡なり學問なり音樂なりを勢一杯勉強して修養を積み他年の發達榮譽の根を培うて置きなさるのが肝要です聊か三一館長が婆心を以て御忠告申上げて置きます

柳翠樓 文之助

新春の各劇場

▲演劇は壽座只一つ

●壽座●は既報の如く伊東文夫一座に新たに泉英、横山研太郎外に大坂より女形一名吉野小二郎が後釜として入座し頗る大一座となりたりさて本日の藝題は一番『船坂山』中『思ひ違ひ』切り『美術工藝』にして船坂山の役割は武田六郎（小泉三）四條中納言（泉）播磨四郎（小伊東）安藝宗之助（藤島）美作五郎（芳川）備前助孫（田中）長門入郎（吉井）明石濱之助 小泉英）兒島高德（伊東）

▲歌舞伎座●は曩きに櫻風村雨を影寫して好評を博したる活動寫眞を今回は不如歸と差し換へ開場する筈▲浪花館●明治町の同館は浪花節の大一座にして左の顔觸れなり何れも三日日は晝席をも開演する由

吉川萬技、同淸之助、三河家圓昇、浪花家大八、京山恭春、吉川勝時、吉川糸

●中券番の十內 客年十二月中に於ける中券番藝妓十番迄の賣上高は左の如し

靜子（柳翠）政子（井門）今奴（淸華）八重松（松葉）雛子（井門）一駒（淸華）やん茶（柳翠）光松（松葉）文之助（柳翠）江戸奴（同上）

靜子、政子等の好成績は例の通りにして今奴は二三箇月面白からざりしも今度は捲土重來など云ふ有樣又新妓で十內に入りし一駒の腕も素破らしきもの例に依つて井門の雛子が扇子一本でいつも好位置を占むるは豪氣なものなり

◀平民文庫▶

此の小照は去歲本文庫欄に活動せられたる●の字又の名を春部と號せらるゝ某商店の方である投書の資質に見て記者は君が前途の多望なるを祝福するものである、新春本文庫の劈頭に掲げて敬意を表する（係）●

▲僕が本文庫を擔任してから尠なからぬ援助を與へられたのは無遊君である然るに君は昨冬來甚だ振はない本年は一つ舊倍の勇を鼓つて戴きたい千里眼君も然うであるよ八五郎先生も一つ餘力[illegible]たい蛤食度生、ドントコイ生なんぞも同様なり小僧も確乎しろ兎に角諸君が目出度い新年を迎へられたことゝ御慶を申上げます（係）▲二十八日第二面に韓國酒類釀造に就きて烏井技師の談御掲載有之候處右韓酒及び葡萄酒櫻桃酒は何處に於て釀造致し居られ候哉又釀造場拜見希望致し居候に付き御許容此れあるべくや御手數ながら御聞き合せの上平民文庫欄にて（三並美一）▲委細承知、仕、候併し五七日後まで御猶豫を（記者）▲支那町に濟の屋と云ふ料理店があるが龍山のと同一店かしら（知度生）▲西小門通りの富士館と云ふ下宿屋に以前から狆が居るが家に外來客があると出迎へ見送りをする感心なものだ（訪問子）▲昨年は御社と通信管理局との選手連の主催で歌留多會を催されたが本年は如何です一つ行りになつては（歌留多狂）▲今年は本社以外で一つ何方かの御肉よりの御發起があると思ひますで一寸本年は御免を蒙りたい（小僧）▲日韓合邦問題は李完用ノ遭難で一段落か併し此のまゝ引き込ます理由にも行くまい此れからが見物でムらう（への字）●●

吉凶鑑

本町五丁目 三一館判

一月一日 月齢十一月二十日九紫赤口丙寅滿三りんは入一白 交際上人に對して不平不服を抱くあり巧言令色に陷ゆる勿れ△二黑 恩を施して仇を作らんとす其他憂運なり大槪の事吉△三碧 願望の日なり大抵吉祿 宴會事業初め等尤も妙△四綠 色情を愼しみ兒女の置留に惑ふ勿れ其他吉△五黃 賣買取引上留意すべし他は槪して障礙なし△六白 些少の事端より怒情を挑發する勿れ引受世話等散財多し△七赤 從者配下より苦情不平を聞くあり金品授受紛紜あり△八白 家庭内に小波瀾を起す勿れ酒色賭事を堅く禁ず△九紫 本命日なり厄迷日とす萬事謹愼を要す新事變更効なし爭論酒害賭事を堅く戒む

謹賀新年